

## 2017年のできごと

### 1月7日 企画展「第20回全国児童生徒地 ~2月19日 図優秀作品展」を開催

地図と測量の科学館ほか2会場において、企画展「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催した。本企画展は、全国各地で開催されている児童生徒の地図に関する作品展から選ばれた優秀作品を展示するもので、106作品を展示した。また、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の表彰式が1月11日に国土交通省で行われた。

### 1月26日 第14回北海道測量技術講演会を 開催

北海道地方測量部は、(公社)日本測量協会と共に札幌第1合同庁舎講堂(北海道札幌市)において、測量の日記念行事として、第14回北海道測量技術講演会を開催した。

本講演会では、「情報通信技術(ICT)の活用による地理空間情報イノベーション」をテーマとして、地理空間情報の新たな活用やそれを支援するための最新の取組を紹介した。

### 2月20日 「平成28年全国都道府県市区町 村別面積調」を公表

平成28年10月1日現在の日本国土の面積をとりまとめた「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」を公表した。平成28年の国土面積は、平成27年の377,970.75km<sup>2</sup>から377,971.57km<sup>2</sup>になった。

### 2月20日 第214回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第214回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「予測実験の試行03」に関する報告・議論などが行われた。

### 2月22日 指定緊急避難場所データを「地理 院地図」から公開

国土地理院、内閣府及び消防庁が整備を進めてきたウェブ地図上に表示できる「指定緊急避難場所データ」について、整備が完了した市町村のデータを「地理院地図」から公開を開始した。

### 2月28日 東北地方太平洋側の水準点成果 (高さ)を改定

平成23年東北地方太平洋沖地震後も地殻変動が

継続していることから、東北地方の太平洋沿岸の水準点の測量を再度実施し、改定した水準点の成果を公表した。

### 3月8日 平成28年度国土地理院コンプラ イアンス・アドバイザー委員会 を開催

国土地理院本院において、平成28年度国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会を開催した。本委員会では、平成28年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)及び平成29年度国土地理院コンプライアンス推進計画(案)について、報告及び審議が行われた。

### 3月10日 企画展「地震災害を考える」を開 ~7月23日 催

地図と測量の科学館において、企画展「地震災害を考える」を開催した。本企画展では、測量・地図を通じて「地震災害を知り、考えること」を目的に開催した。

### 3月14日 第19回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第19回測量行政懇談会(委員長:清水英範東京大学大学院教授)を開催した。本懇談会では、次期地理空間情報活用推進基本計画案について現状を報告するとともに、今後の測量行政のあり方に関する検討体制について議論が行われた。

### 3月14日 「地理院地図」の3D表示機能を 拡充

地理院地図で、これまでの地表の3D表示に加えて、地下や空中の情報も3D表示できるよう機能を拡充した。また、3D表示した情報をシームレスに閲覧できる地理院地図Globeを正式公開した。

### 3月15日 日本の重力値の基準を40年ぶりに 更新

最新の観測結果に基づき、国内の重力値の基準を40年ぶりに更新し、「日本重力基準網2016(JGSN2016)」として公表した。

### 3月24日 地理空間情報活用推進基本計画 が閣議決定

「地理空間情報活用推進基本計画(第3期)」が閣議決定された。本計画は、防災、交通・物流、生活環境、地方創生、海外展開等の幅広い分野で地理

空間情報が高度に利活用される世界最高水準の「地理空間情報高度活用社会」(G空間社会)の実現を目指す。

**3月27日 2万5千分1都市圏活断層図「白馬岳・大町 一部改訂版」を公開**

平成26年(2014年)長野県北部を震源とする地震に伴って、従来知られていた神城断層に沿って明瞭な地震断層が出現した。地震断層が出現した区域を範囲とする一部改訂版を新たに作成・公開した。

**3月30日 「国土を測る」意義と役割を考える懇話会報告書を公表**

測量・地図が持つ「力」と「可能性」を伝えるため、主に広報活動と教育支援について、新たな発想に基づく考え方と取組の方向性を示した報告書「国土を測り、未来を描く～測量・地図の「力」と「可能性」を伝える～」を公表した。

**4月11日 熊本地震等災害対策関係功労者～4月13日 に感謝状を贈呈**

平成28年の熊本地震や台風第10号による大雨等の災害対策活動において、被害状況把握のための空中写真撮影、災害復旧等の事業に必要な測地基準点(三角点、水準点)の復旧測量及び地図・写真図の整備・提供に尽力いただいた49団体に、災害対策関係功労者として各地方測量部において感謝状を贈呈した。

**4月25日 『「国土を測る」意義と役割を考える懇話会』報告書等に関する説明会を開催**

九段第2合同庁舎において、「国土を測る」意義と役割を考える懇話会の議論を取りまとめた報告書等に関する説明会を開催した。また、3月24日に閣議決定された「地理空間情報活用推進基本計画(第3期)」など、最近の話題についても報告を行った。

**4月28日 戦前の東京23区が見渡せる空中写真を地理院地図上で公開**

地理院地図で、東京23区の1936年(昭和11年)頃の戦前の空中写真が、現在の地図や各年代の空中写真などとも重ねて閲覧できるよう公開された。

**5月18日 「測量の日」記念講演会を開催**

「測量の日」四国地区推進協議会は、ザクラウンパレス新阪急高知(高知県高知市)において、「測

量の日」記念講演会を開催した。

**5月19日 第215回地震予知連絡会を開催**

関東地方測量部において、第215回地震予知連絡会を開催した。委員が第24期から第25期となり、第25期の会長には平原和朗委員が選出された。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「海域モニタリングの進展」に関する報告・議論などが行われた。

**5月23日 地球の形を正確に測る仕組みに関する講演会を開催**

地図と測量の科学館にて、世界を代表する米国の研究者をお迎えし国際的な連携や精密な測定技術など、全球統合測地観測システム(GGOS)に関する取組について講演を行った。

**5月24日 日本水準原点を一般公開**

関東地方測量部は、(公社)日本測量協会と共に、我が国の土地の高さの基準となっている日本水準原点を一般公開した。あわせてパネルの展示やミニ講座を開催して、原点や水準測量等の紹介を行った。

**6月3日 第29回「測量の日」記念-地図と測量のミニフェスタ-を開催**

東北地方測量部は、スリーエム仙台市科学館(宮城県仙台市)において、「第29回「測量の日」記念-地図と測量のミニフェスタ-」を開催し、測量・地図に関するパネル展示や測量体験等を行った。

**6月4日 「測量の日」特別企画～遊んで学んで地図と測量の世界2017～を開催**

地図と測量の科学館において、「測量の日」特別企画を開催し、国土地理院が提供している様々な地理空間情報をわかりやすく紹介するとともに、子どもから大人まで楽しみながら地図と測量に関する体験ができる企画を行い、来場者は1,747人であった。

**6月4日 平成29年度「測量の日」における功労者感謝状の贈呈**

測量・地図に対する国民の一層の理解と関心を高めることを目的として、測量・地図に関する普及・啓発に顕著な功績のあった2個人・3団体に、感謝状を贈呈した。

### 6月5日 「測量の日」パネル展を開催 ～6月7日

沖縄支所は、「測量の日」沖縄県実行委員会と共に沖縄県庁県民ホール（沖縄県那覇市）において、「地理空間情報が創りだすイノベーションを知ろう！」をテーマに「測量の日」パネル展を開催した。

### 6月6日 「測量の日」記念フェア2017を開催

近畿地方測量部は、(一社)大阪府測量設計業協会及び大阪土地家屋調査士会と共に、大阪合同庁舎第4号館（大阪府大阪市）において、「測量の日」記念フェア2017を開催した。本記念フェアでは、第21回近畿地方測量技術発表会及びパネル展、測量機器・システム展が行われた。

### 6月6日 国土交通省ハザードマップポータルサイトの改良

住民の方々の避難を迅速化し「逃げ遅れゼロ」を目指す取組の一つとして、ハザードマップポータルサイトについて、災害リスクを簡単に確認できるよう改良を行った。

### 6月7日 タイ王国と電子基準点網構築の協力覚書を締結

国土交通省は、タイ王国科学技術省との間で、衛星測位技術を活用した「電子基準点網の整備に関する協力覚書」に署名を行った。

### 6月7日 第46回国土地理院報告会を開催

日経ホール（東京都千代田区）において第46回国土地理院報告会を開催した。国土地理院からの報告のほか、東京大学空間情報科学研究センター教授の柴崎亮介氏から特別講演をいただいた。本報告会には573名の参加があった。

### 6月7日 「くらしと測量・地図」展を開催 ～6月9日

関東地方測量部は、「測量の日」東京地区実行委員会の事務局として、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、「くらしと測量・地図」展を開催した。「地図で見るCool Tokyo」をテーマに、関連する地図・空中写真・関連資料の展示・説明を行った。

### 6月8日 「地理院地図パートナーネットワーク会議」を開催

地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者、ツール提供者が参加する地理院地図パートナーネットワーク

会議を開催し、情報共有や意見交換を実施した。

### 6月8日 「測量の日」記念講演会を開催

中部地方測量部は、「測量の日」中部地区連絡協議会と共に「ウインクあいち」（愛知県名古屋市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

### 6月8日 地図パネル展を開催 ～6月10日

北陸地方測量部は、金沢海みらい図書館（石川県金沢市）において金沢の移り変わりを知ることができる地図パネル展を開催し、過去と現在の地図や空中写真、余色立体地図等の展示と地図教室を開催した。

### 6月22日 第22回中国地区測量技術講演会を開催

中国地方測量部は、「測量の日」中国地区連絡協議会と共に、広島県民文化センター（広島県広島市）において、第22回中国地区測量技術講演会を開催した。

### 6月27日 平成29年6月25日07時02分の長野県南部の地震に伴う地殻変動を観測

6月25日07時02分に発生した地震（M5.6、最大震度5強）に伴う小さな地殻変動を電子基準点で観測した。

### 6月29日 「測量の日」記念講演会を開催

九州地方測量部は、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会と共に、福岡県中小企業振興センター（福岡県福岡市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

### 6月30日 西之島の地形図及び火山基本図データ提供開始

平成28年12月20日時点における西之島の2万5千分1地形図、火山基本図データ等の提供を開始した。併せて、地形図更新に利用した空中写真、電子地形図（25000、20万）、数値地図（国土基本情報、国土基本情報20万）も同日に提供を開始した。

### 7月3日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」四国地区推進協議会は、サン・イレブン高松（香川県高松市）において、「測量の日」記念講演会を開催した。

### 7月18日 優良業務及び優良技術者を表彰

平成28年度に完了した国土地理院発注の測量業

務のうち、特に優れた成績を収めた優良業務 11 件及び優良技術者 2 名に対し、国土地理院長表彰を行った。

#### 7月20日 外国人向け地図記号「観光案内所」を決定

案内用図（ピクトグラム）の日本工業規格（JIS）が改正されたのを受け、外国人向け地図記号「観光案内所」を決定した。

#### 7月21日 平成29年度国土地理院入札監視委員会総会及び第1回定例会議を開催

関東地方測量部において、平成29年度国土地理院入札監視委員会総会及び第1回定例会議を開催した。総会では、委員会の運営に関する説明及び委員長・委員長代理の選出等が行われ、委員長に大久保修平委員、委員長代理に川合竜太委員が選出された。定例会議では、国土地理院が発注した平成28年10月1日から平成29年3月31日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が抽出した事案についての審議が行われた。また、定例報告の中で、「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格登録」について審議された。

#### 7月28日 第52回海岸昇降検知センター総会を開催

関東地方測量部において、第52回海岸昇降検知センター総会を開催した。本総会では、気象庁、海上保安庁海洋情報部、国土交通省港湾局、国土地理院及び海岸昇降検知センター事務局から、平成28年度事業報告及び平成29年度実施計画の説明並びに研究成果等の発表が行われた。

#### 7月28日 企画展「手描き地図の世界」を開催 ～12月17日 催

地図と測量の科学館において、企画展「手描き地図の世界」を開催した。手描きの地図に焦点をあて、手描き地図の位置づけや作製のポイントをわかりやすく展示するとともに、先人達の魅力ある手描き地図を紹介することで、新たな地図の世界を楽しんでいただくことを目的として開催した。

#### 7月31日 第2回 アジア・オセアニア VLBI ～8月1日 グループ（AOV）総会を開催

アジア・オセアニア VLBI グループ（AOV）は、同地域の測地・位置天文 VLBI 事業に関する連携強化を目的として、2014年に設立された国際 VLBI 事業（IVS）のサブグループである。今回、国土地

理院がホストとなり第2回総会を兵庫県神戸市で開催した。5か国から19名の参加があり、各国からの機関報告のほか、次世代 VLBI システムへの移行に係る諸問題の提起、次年度の観測計画の方針、国際レーザ測距事業（ILRS）と国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会第1作業部会（UN-GGIM-APWG1）との連携協力について議論された。

#### 7月31日 地球規模の地理空間情報管理に ～8月4日 関する国連専門家委員会第7回 会合に出席

米国ニューヨークの国連本部において開催された地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会（UN-GGIM）第7回会合に、国土地理院から村上院長他1名が出席した。本会合では、今後5か年の UN-GGIM の基本実施方針となる Strategic Framework 2017-2021 に関する議論や、前回に引き続き、2015年2月に国連総会で決議された地球規模の測地基準座標系（GGRF）の維持に向けたロードマップ及びそれを実施するための準委員会に係る議論と活動報告等が討議された。

#### 8月7日 第11回国連地名標準化会議及び ～8月18日 第30回国連地名専門家グループ 会合に出席

アメリカ合衆国ニューヨーク市の国連本部において、第11回国連地名標準化会議（UNCSGN）及び第30回国連地名専門家グループ会合（UNGEGN）が開催され、政府代表団の一員として明野基本図情報部長他1名が出席した。会議では各国における地名標準化の状況報告、作業部会及び地域/言語部会の活動報告、地名標準化に係る課題の報告・議論が行われた。日本からは「地名情報のベクトル形式による提供」と題し、7月から試験公開を開始した地名情報のベクトル形式提供について発表した。

#### 8月21日 第216回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第216回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「首都圏直下地震」に関する報告・議論などが行われた。

#### 8月24日 2万5千分1都市圏活断層図を 公開

屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯とその

周辺「中津川」「恵那」、鈴鹿西縁断層帯とその周辺「彦根東部」「御在所山」、別府-万年山断層帯とその周辺「豊岡」の5図葉を整備・公開した。

**9月1日 「つくばVLBIアンテナ部品」の展示を開始**

平成10年から18年間、国内外の正確な位置(緯度・経度)を数mmの精度で測定してきた「つくばVLBIアンテナ」は、平成28年度末に解体された。地図と測量の科学館の地球ひろばにてその「つくばVLBIアンテナ」の部品の展示を開始した。

**9月6日 サマースクール「地図と測量の世界を知る」を開催**

地図と測量の科学館において、2017年度サマースクール「地図と測量の世界を知る」を開催した。本スクールは学部3年生以下の地理系大学生を主対象とし、地図や測量に関する興味関心を深め地理研究者・教育者・技術者を志す契機や進路選択に役立てることを目的として開催し、7大学から12名の参加があった。

**9月15日 電子基準点で「みちびき2号機」の観測を開始**

電子基準点で「みちびき2号機」の観測を開始し、国土地理院のデータ提供ページからデータ提供を開始した。

**9月21日 防災アプリ大賞を決定**

水管理・国土保全局と共に、内閣府等と協力して、防災に関する地理空間情報の活用とオープンデータ化を推進するため、スマートフォン等で動作する防災に役立つアプリケーションの公募を行った。「防災意識の向上や安全に避難をするための様々な地理空間情報を効果的に活用した」防災アプリの公募を4月に行い、防災アプリ大賞1点、防災アプリ賞5点を決定した。

**10月4日 日本測地学会賞「第25回坪井賞」を受賞**

日本測地学会第128回講演会において、日本測地学会坪井賞の授賞式が執り行われ、地理地殻活動研究センター宇宙測地研究室の宗包浩志室長が第25回坪井賞(個人賞)を受賞した。

**10月12日 G空間 EXPO2017 を開催**  
**～10月14日**

日本科学未来館(東京都江東区)において、G空間 EXPO2017 を開催した。本 EXPO は、地理空間情報の最先端技術やサービスを結集し、未来をつ

くる地理空間情報の技術やサービスを広く紹介するとともに、新たな技術やサービスの創出、民間事業者等の提案や創意工夫を掘り起こす場として産学官の連携により開催され、3日間で20,450人の来場者があった。国土地理院は、Geo アクティビティコンテスト、パネルディスカッション、メインステージでの講演及びパネル展示等を実施した。

**10月16日 国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会(UN-GGIM-AP)第6回総会の開催**  
**～10月19日**

国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会(UN-GGIM-AP)第6回総会が熊本市国際交流会館(熊本市中央区)で開催された。アジア太平洋地域13か国から40名、国連事務局等のリエゾン機関から4名、民間企業や地域外の地理空間情報当局から23名など、約80名が参加した。UN-GGIM-AP 会長として村上院長が議事を取り仕切り、国土地理院は総会ホストとしてUN-GGIM-AP 事務局の中国と連携して会議を運営した。総会ではスペシャル・セッションを初めて実施し、開催地で発生した熊本地震での国土地理院の対応を紹介し、地理空間情報当局の災害対応について議論した。

**10月21日 石岡測地観測局 一般公開 2017 を開催**

第16回茨城県畜産センター公開デーに合わせ石岡測地観測局の一般公開を実施した。一般公開は昨年続き2回目であり、悪天候にも関わらず271名が来場した。VLBI 施設説明、アンテナ見学、駆動実演及びペーパークラフト工作を実施し、昨年に引き続き、アンテナパラボラ面に触ることができアンテナ見学が好評だった。そのほか、絶対重力計の展示と重力観測の役割の説明、電子基準点の説明、つくば市の協力による筑波山ジオパークに関する展示・説明を実施した。

**10月31日 2万5千分1活断層図「阿蘇」「熊本 改訂版」を公開**

平成28年熊本地震によって出現した地震断層及び周辺地域の活断層の詳細な位置形状を表示した2万5千分1活断層図(今回の2図葉から名称変更)を公開した。

**11月13日 「地理院地図パートナーネットワーク会議」を開催**

地理院タイルをはじめとする地理空間情報の活用推進のため、国土地理院、受託開発者、ツール提

供者が参加する地理院地図パートナーネットワーク会議を開催し、情報共有や意見交換を実施した。

**11月13日 平成29年度国土技術研究会に参加  
～11月14日 加**

国土交通省本省において、平成29年度国土交通省国土技術研究会が開催された。国土地理院から自由課題（イノベーション部門）1課題、自由課題（一般部門：安全・安心部門）1課題、ポスターセッション3課題の発表を行った。この内、自由課題（イノベーション部門）で優秀賞、ポスター発表で最優秀賞と優秀賞を受賞した。

**11月15日 第20回測量行政懇談会を開催**

関東地方測量部において、第20回測量行政懇談会（委員長：清水英範東京大学大学院教授）を開催した。本懇談会では、新たに設置した「測位基盤検討部会」と「地図の利用手続のあり方検討部会」からの中間報告及び「地理教育支援検討部会」からの経過報告を行った。

**11月15日 2017年11月12日イラン・イラク国境付近の地震に伴う地殻変動を把握**

2017年11月12日にイラン・イラク国境付近でMw7.3 (USGS) の地震が発生した。地震に伴う地殻変動を把握するため、日本の地球観測衛星「だいち2号」(ALOS-2) に搭載された合成開口レーダー (PALSAR-2) のデータを使用して SAR 干渉解析を行った。

**11月22日 第217回地震予知連絡会を開催**

関東地方測量部において、第217回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地震活動、日本周辺における浅部超低周波地震活動、日本列島のひずみ変化、地震関連、プレート境界の固着状態とその変化について報告が行われた。また、重点検討課題「予測実験の試行 04」に関する報告・議論などが行われた。

**11月25日 2017年度日本活断層学会 学会賞を受賞**

日本活断層学会 2017年度秋季学術大会において、2016年熊本地震が発生した直後に撮影された航空写真の画像データおよび衛星データの解析結果等を、ホームページ等を通じて広く公開し、地震発生直後の現地調査に大きく貢献したことが認められ、2017年度日本活断層学会学会賞を受賞した。

**11月28日 「第18回いばらき児童生徒地図  
～12月10日 作品展」を開催**

関東地方測量部は、いばらき児童生徒地図研究会の事務局として、身のまわりの環境や地域、地図に対する関心を深めてもらうことを目的に、茨城県内の小・中学生を対象として「第18回いばらき児童生徒地図作品展」を開催し、応募作品133点のうち優秀な作品50点を展示した。

**12月3日 衛星測位システムに関する国際  
～12月7日 委員会第12回総会 (ICG-12) に参加**

京都大学で行われた衛星測位システムに関する国際委員会第12回総会 (ICG-12) に国土地理院から4名が参加した。総会では衛星測位システム (GNSS) や補強システムの提供国、GNSS利用に関連する国際機関等が一堂に会し、GNSSの互換性の確保、衛星測位技術の普及促進や情報交換等を行った。

**12月12日 ビックデータを活用した地形図  
の修正のための協力協定を締結**

登山者がスマートフォンやハンディGPS受信機で取得した移動経路情報などのビックデータを活用した地形図の修正を行うため、「登山情報に関する協力協定」を締結した。

**12月20日 平成29年度国土地理院入札監視  
委員会第2回定例会議を開催**

関東地方測量部において、平成29年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催した。定例会議では、国土地理院が発注した平成29年4月1日から平成29年9月30日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が出した事案についての審議が行われた。

**12月22日 平成29年度補正予算の政府案が  
決定**

平成29年度補正予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の補正予算案額は、総額1.08億円となった。

**12月22日 平成30年度予算の政府案が決定**

平成30年度予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院関係の予算案額は、総額96.4億円となった。